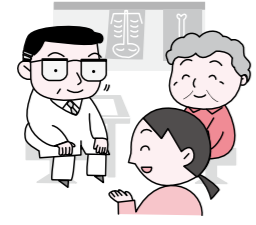



◎認知症がもしれないと思ったら

<p>かかりつけ医</p> 	<p>専門医療機関</p> <p>認知症疾患センター、もの忘れ外来、精神科、神経内科、老年科など</p>
	<p>地域の相談機関</p> <p>津山市地域包括支援センター 津山市役所高齢介護課・健康増進課 津山市社会福祉協議会</p> 

思い当たることがあっても本人を病院に連れて行くには勇気が要ります。いきなり本人を連れて行くことに抵抗があるなら、家族がまず相談に行きましょう。認知症講習会などに出掛けるのも良いでしょう。行動を起こすことが大事です。

日常生活に現れる認知症のサイン

- ◆ 最近の出来事が思い出せない
- ◆ しまい忘れや置き忘れが多くなる
- ◆ 人に会う約束や会合、通院の予定を忘れてしまう
- ◆ 仕事の段取りや計画を立てられなくなる
- ◆ 同じ質問を何度もしたり、つかみどころのないおしゃべりをする



山田「マツ子さん、このごろウメ子さんの顔を見んけど、どうされとるん？」

マツ子「あ、民生委員の山田さん。それがなあ、お義母さんこのごろもの忘れがひどいんじやあ。この前もな、私が通帳を盗んだゆうて犯人扱いされたんじやあ…。もう、腹が立つやうな情けないやら…。それにな、ちっとも外に出んようになつてしまつたわ。誰かに相談したいと思ひよつたところなんじや。どうしたらええんじやろ…」

山田「…もしかして認知症が始まりよるんかもしれんよ」

マツ子「認知症って？」

山田「痴呆のことを今は認知症というんよ」

マツ子「えっ？痴呆？困つたわあ。これ以上悪くなつたらどうしよう…」

山田「病院には掛かつてる？」

マツ子「お義母さん、元氣じゃけんな。どこにも掛かつたらんわ」

山田「タケ雄君はどう言ひよん？」

マツ子「年のせいじゃ言つて取りおつてくれん。自分の親のことなのになあ」

山田「一回、専門の先生に診てもらつた方がええんじやないん？」

マツ子「普段病院に行かんのに、どう言つて連れて行つたらええんじやろ？」

山田「うーん、困つたなあ。じゃあ、地域包括支援センターに相談してみようか。家に来てくれるし」

マツ子「そうしてもらえると助かるわ」

マツ子さんはタケ雄さんに朝の出来事を相談しましたが、タケ雄さんは年のせいだと笑つて真剣に聞いてくれません。

それから数カ月たったある日の夕方…

ウメ子「タケ雄、私の通帳と印鑑知らんか？引き出しに無いんじや」

タケ雄「母さん、よう探したんか。どっかに置き忘れとんじやないんか？」

ウメ子「いつもここに入れとんじやけど、無いんじや。ああ、そうじゃ！私の部屋に入るのはマツ子しかおらん。マツ子が取つたんじや！私の年金を取つたんじや！」

タケ雄「はあ？おーい、マツ子」

マツ子「お義母さん、通帳が無いんじやって？昨日、銀行に行つたじやろ。カバンの中にあるんじやないん？」

ウメ子「銀行？行つとりやせんて。カバン？せえでも、いつも引き出しに入れとんじやけん…」

ウメ子「銀行？行つとりやせんて。カバン？せえでも、いつも引き出しに入れとんじやけん…」

(通帳と印鑑がカバンから出てく)

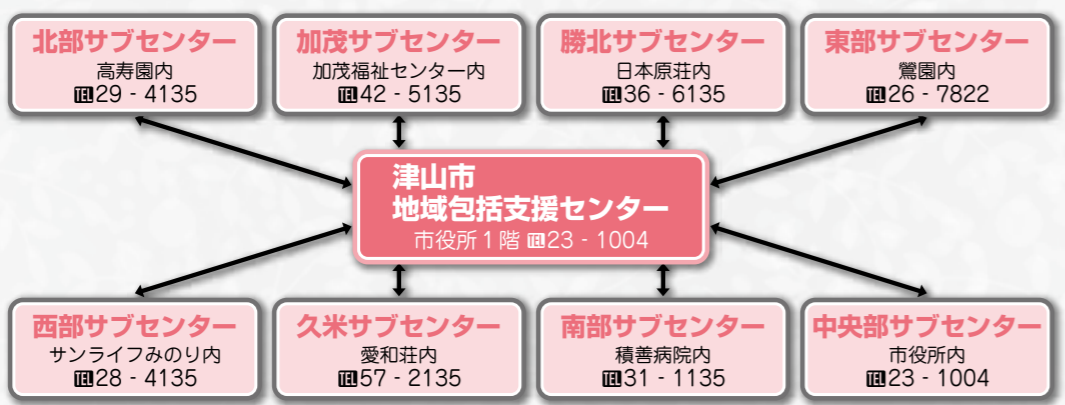
タケ雄「母さん！有るがなあ」

ウメ子「…せ、せえでも私は入れとらんじやけん。誰かがこっそり入れたんじや！」

ウメ子さんはこのころから色々な事を忘れていく自分に不安を感じるようになりました。しかし、ウメ子さんは自分のものを忘れを恥ずかしく思い、誰にも打ち明けることができませんでした。一方、お義母さんの様子がおかしいと感じていたマツ子さんは、誰かに相談したいと思ひながら、誰に相談したら良いものか悩んでいました。

津山市地域包括支援センター

保健、介護、福祉の3分野の専門職が連携し、市や医療機関、介護（介護予防）サービス事業者、ボランティアなどと協力しながら地域の高齢者の様々な相談に対応する機関です。市では市内8カ所にサブセンターを設置し、地域の人々の相談を受けています。



◎認知症について正しい理解を

認知症とは脳の障害によって起こる病気です。認識したり、記憶したり、考えたり、判断する部分が障害を受け、日常生活に支障をきたすようになった状態をいいます。

「ぼけてしまえば、何もわからなくなるから楽だ」と言う人がいます。しかし実際には、認知症の人は自分ができないことが少しずつ増えていっていると感じています。自分が壊れていくような不安やおびえを抱えていることが多いのです。

現在、日本の認知症患者の数は170万人にのぼり、85歳以上の4人に1人が認知症といわれています。認知症はアルツハイマー型が代表的なものですが、脳出血や脳梗塞などの脳血管障害でも起こりますし、そのほかの原因から認知症を起こすこともあります。